

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月15日

事業所名 サトスポキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	83%	17%	・部屋を区切る、一度の最大利用者数を制限するなどしている。 ・整理整頓を心がけ、怪我及び事故のないよう安全に努めている。	サポートのスタッフによる見守りをさらに強化していきます。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	・配置基準を満たし、プラスアルファのスタッフも配置している。	今後も配置数を適切に守り、様々なスタッフと関わる機会を設けていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	83%	17%	・視覚的な支援や聴覚過敏の子のために活動の部屋を分けるなど行っている。 ・整理整頓、カゴに絵カードが貼ってあり、何が入っているかわかりやすくしたり、床はじゅうたん、室内は段差はない空間である。	・ビルの共有スペースのバリアフリー化は進んでおらず、スタッフ等の介助で車いす利用時への対応を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・毎朝清掃を行っていたり、体液が付着した用具についてはすぐに消毒を行うようにしている。	・消毒に関しては、今後も状況に応じた対応を心がけてまいります。 ・物品の点検、清掃を常に行い、今後も子どもたちが活動しやすい環境調整をまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	・定期的な会議を行い、業務の見直し、役割分担を行うようにしている。	今後も日々の業務に関する職員間の共有の徹底を行っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者向けの評価、アンケートを取り、その結果を参考に、業務改善を行っている。	アンケート回収率の向上を行い、より一層業務の改善に繋げてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・毎年HPIにて公開している。 ・会報にて周知している。	今後も継続してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	・理学療法士(外部)からのアドバイスを受け、業務改善に繋げている。	今後も様々な機関と連携し、業務改善に繋げてまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・年に数回児童福祉や障がい者福祉に関わる外部研修に参加している。 ・定期的に内部研修を各委員会で開催している。	今後も外部の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上を目指してまいります。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・定期的に行われるモニタリングを参考にして、ニーズに合わせ計画を作成している。 ・保護者の意見と複数の職員の意見を参考にしつつ、作成するようにしている。	子どもたちへのアセスメントを行うことで、本人のニーズにもしっかり応えていきたいと思っています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・標準化されたアセスメントツールに加え、オリジナルのアセスメントツールも使用している。	年度初めに子どもたちの成長を把握するために、再アセスメントを行い、より良い支援に繋げていきたいと思っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・3つの項目すべて記載しガイドラインに沿った支援計画を作成している。	3つの項目全てを記入したものに加え、5領域を反映した支援計画を作成してまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援計画の内容を考慮した支援となるように活動プログラムを考えている。	今後も支援計画に沿えるよう専門的知識の向上に努めてまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	・前回指導を担当した指導員に話を聞くなどして事前に情報を得るようにしている。 ・ケース会議を基に、課題、プログラムを考えている。 ・指導前にチームでの相談、立案をして指導に臨んでいる。	今後も職員間の情報共有を行い、よりよいプログラムの立案をチームで考えてまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・これまでの活動を確認し、常に職員で話し合い、その時の状況、状態に応じたプログラム設定を行うことで、様々な角度からアプローチできるようにしている。	子どもたちのやりたいことや保護者の方の要望を聞きながら、今後もプログラムの工夫を行ってまいります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	83%	17%	・個別での活動が基本となるが、集団でも行えることがある場合には、積極的に集団活動を行っている。 ・子の状況、保護者のニーズのすり合わせを行った上での作成を行っている。	今後もご要望に応じて対応してまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	・誰が支援のメインを担当するのかを話し合い、補助の役割分担を決め、相談したいことがある場合には、始まる前に聞くようになっている。 ・集団活動を予定している場合は打合せを行っている。	今後もそれぞれ声を掛け合っ、お互いの役割の確認を行ってまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	・気になったこと、新しい発見などは活動後すぐに指導員同士で共有するよう心掛けている。 ・メインの担当以外にも指導員を見ていたスタッフからも意見を聞き、次回に活かせる共有を行っている。	今後も継続して必ず支援終了後の振り返りを行い、お互いに気づいた点を共有しあって、よりよい支援に繋がるよう心掛けてまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	・正確な記録を残すよう心掛け、また支援会議を行い、改善に繋げている。 ・指導中に補助のスタッフが見守りながら記録を取り、支援に一貫性をもたせている。	今後も継続して正しく記録を取ることで、より良い支援に繋がるよう心掛けてまいります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に1回のモニタリングや支援会議の結果、支援計画の変更の必要があれば定期的に見直ししながら作成している。	モニタリングを行うことにより常に支援計画の見直しを行ってまいります。保護者様同伴でのご利用なので、モニタリング以外の時期でも必要に応じてご相談に乗ってまいります。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	83%	17%	・適切な職員が担当者会議に積極的に参画しています。	参加させていただく際にその子どもの状況をしっかり把握し、お伝えできるよう常に職員間での共有を心掛けています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	83%	17%	・児童の状況に応じて担当者会議などで関係者との連携を行っている。	必要に応じて連携を行ってまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17%	83%	・医療的ケアが必要な子どもの利用者は現在なし。受け入れる場合は保護者とも相談し、関係機関との連携体制を整える予定。	医療的ケアが必要な子どもが今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	・医療的ケアが必要な子どもの利用者は現在なし。受け入れる場合は保護者とも相談し、主治医との連携体制を整える予定。	医療的ケアが必要な子どもが今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	・必要に応じて担当者会議の参加や相談支援員を通じて情報の共有や見学などを行っている。 ・保護者様からのお話で内容を聞き、必要に応じて連絡を取るようになっている。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思います。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	50%	50%	・移行支援としてはあまりないが、小学校にも特別支援学校にも情報の共有と相互理解は担当者会議で行ってきている。 ・保護者と移行先を伺い、学校側に情報共有をはかっていけたら。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思います。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	・研修を受けるなど、必要に応じて情報の共有を行うようになっている。	今後も見学や研修に参加し、支援の質を高めていきたいと思っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%	・地域の行事やイベントに参加することで、障がいのない子どもたちとも接する機会を設けています。 ・障がいのない子どもたちでも通える体操教室を併設している。	イベント参加等地域との交流を今後も検討していきたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
携	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	83%	17%	・児童支援連絡会及び子ども部会へ参加し、その後職員間で共有している。	参加した職員からの情報共有を心がけて参りたいと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・保護者見学のもと活動を行っているため、活動前に直接保護者の方に状況を聞き、活動後はその日の活動で気づいたこと等を伝えるなど、利用児の様子を共有する時間を設け共通理解を持っている。	今後もその時々状況に応じて、子どもたちの発達における課題を共有し、一緒に成長を見守っていきたく思います。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・希望者にはペアレント・トレーニング講座を開催している。	今年度も事業所主催でのペアレント・トレーニング講座を開催いたしました。次年度も開催予定にしています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に保護者の方に伝えている。変更があった際にもすぐに変更のお知らせを作成、説明を行い、保護者の方の了承を得ている。 ・いつでも閲覧できるよう配置している。	利用を開始してからの疑問点があれば、随時お答えしていける体制を整えています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	・保護者の方へ説明を行い同意を得るようにしている。	今後もガイドラインに則り支援計画を作成し、保護者様の同意を得てまいりたいと思います。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・主に活動中活動後の時間に近況の報告や相談等を受け、必要な支援に関する助言等を行っている。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・保護者会の開催により、保護者同士の連携を支援している。 ・外部の保護者会の活動も支援している。	今後もそれぞれのニーズに応じた企画を考えてまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情解決委員会を設置し、マニュアルに準じて迅速に対応できる体制を作っている。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・会報は年3回ほど、活動内容は随時HP、ブログ、SNSで発信している。	今後も定期的な会報の作成を継続し、保護者様への情報発信に努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・担当者会議など個人の情報が必要な時以外は個人情報が入っているものを外に持ち出さないようにしている。 ・ファイリングし、鍵付きキャビネットにて保管している。	今後も十分注意して取り扱ってまいります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・写真カードによる選択方式やホワイトボードでの筆記等を行い、分かりやすく配慮している。 ・保護者様と個別LINE等を活用し、双方向のやり取りも工夫しています。	今後も情報伝達を迅速に行い、わかりやすい情報の提供を行ってまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	・事業所として様々な地域のイベントに参加することで住民との触れ合いの機会を作っている。	イベント参加等地域との交流を今後検討していきたく思います。
	非常時等	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	50%	50%	・各マニュアルを策定し、周知している。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	・年に2回(夏、冬)に利用者にも募集をかけて行い、想定を変えて訓練を行うようになっている。 ・避難経路等を記載したものを掲示し、避難訓練に参加できていない利用者にも周知徹底を行っている。	全員参加が難しいですが、掲示物等で周知徹底を今後も続けてまいります。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	83%	17%	・契約時にアセスメントシートを用いてできるだけ情報を得るようにしている。 ・予防接種については利用時確認する	今後も状況確認を行い、職員間での情報共有を行ってまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の 対 応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	・食事の提供は行っていないので対応なし。	今後イベントなどにおいて飲食の機会を設定する場合は必ず医師の指示書に基づく設定を対応させていただきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%	・月ごとに分けて作成、印刷をすることでいつでも確認できるようにしている。	今後も作成と共有を心掛けてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止委員会を設置し、年に数回外部の研修に参加し、また事業所内でも研修を行い、適切な対応を行っている。	職員間での共有を今後も心がけ、適切な対応を行っていききたいと思います。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	17%	83%	・「緊急やむを得ない身体拘束に関する同意書」を作成している。	児童発達支援計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。